

# 教育センターニュース

四日市市教育委員会 教育支援課  
〒510-0085 四日市市誠訪町 2-2 (四日市市総合会館6階)  
TEL (354)-8283 (代) FAX (359)-0280



教育支援課  
マスコットキャラクター  
しえん君



ホームページ <http://www.yokkaichi.ed.jp/e-center/>

## ■特集 不登校の未然防止と初期対応・ICTを活用した授業の充実を

### なぜ勉強するの?!

指導課 吉田 隆

連続テレビ小説「梅ちゃん先生」を見るのが、週末のささやかな楽しみになってきました。自分が生まれ育ってきた昭和30年代へと話が近づくにつれ、ついつい見入ってしまいます。路地裏の風景や、側はやたら大きくて肝心のブラウン管が小さいテレビなど、何とも言えず懐かしく、子どもの頃のことや頭に浮かびます。そう言えばテレビのスイッチを入れては裏側に回り、小ささまざまな形の真空管が少しずつオレンジ色の光を放つのをわくわくしながら眺めていたことを覚えています。まるでコンピュータ工場群の夜景のような感じで不思議な空間だったと記憶しています。

さて、少々強引ですが、梅ちゃんつながりで、最近「津田梅子」さんに関わる記事を目にしました。女性が教育を受ける機会が保障されていなかった明治時代に、教育を通して日本の女性の地位が向上することを目指し、女子英学塾を立ち上げた有名な教育者です。

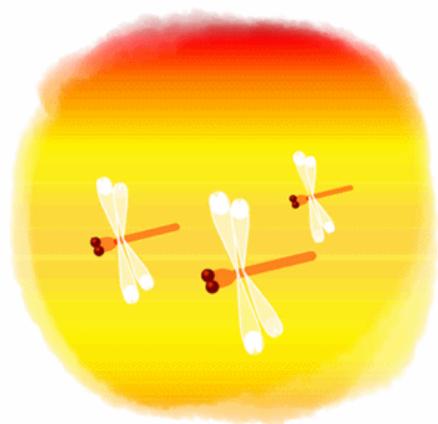
その彼女が卒業生へのはなむけとして次のような言葉を送っています。

「私たちが力点を置いてきたのは、皆さんが学んだことの量ではありません。皆さんが細心にして正確な思考の能力を身につけるよう願ってきました。皆さんが単に学ぶだけでなく、これからさらに学び、考えることができるようにとのねらいからです。」

この言葉は彼女の魂がこもった素晴らしいものであり、現在でも十分通用する重みのある言葉であると考えます。今小中学校ともに新学習指導要領が完全実施され、「生きる力」を支える力として学力の視点から「問題解決能力」が示されていますが、将来の夢の達成のために粘り強く物事に取り組み続ける四日市の子どもたちが一人でも多く育ってもらい

たいと願っています。もちろん教職員の努力だけでなく、保護者、地域とともに力を合わせて初めてできることだと思いがが・・・。

最後に、「道徳の時間は一言で表すと何をやる時間ですか?」と問われたら、「自分の生き方を振り返る」時間と私は答えますが、「なぜ勉強するの?!」と問われたら、みなさんはどうのように答えますか? ある人はこう答えています。「自由に生きるために勉強する」と。



## 不登校の未然防止と初期対応 一四日市市適応指導教室(ふれあい教室)から

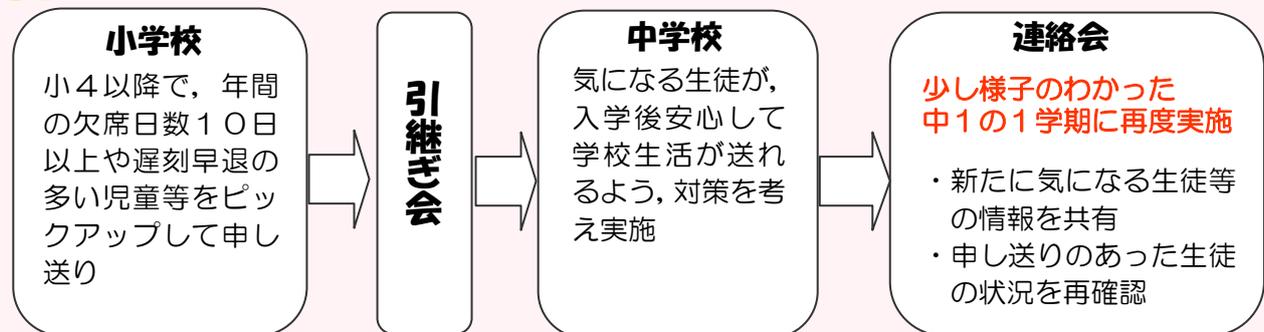
### 不登校ケース1



## 小学校と中学校との連携が未然防止の鍵!



### 連携の実践例



## 「ふれあい教室」見学会 & 学習会

「ふれあい教室」見学会・学習会を行いました。たくさんの先生にご参加いただき、ありがとうございました。学習会では、家庭訪問の仕方について振り返り、ロールプレイを通して、「相手にとって話しやすい雰囲気か」「相手の気持ちを考えて伝えているか」等について考えました。

### 参加した先生方の声



家庭訪問しても、なかなか会えないのですが・・・



初めて不登校の子を担当した時どう対応したらよいかわからなくて・・・

## 不登校ケース2



欠席が3日続いたら…

**周りにも発信して一緒に支援を考えましょう!**



### 支援検討会の実践

日 時	メンバー	内 容
<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 欠席が続いた日の放課後</li> <li>★ 30分程度で</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 担任</li> <li>★ 学年主任</li> <li>★ 養護教諭</li> <li>★ 部活動顧問 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 最近の様子</li> <li>★ 情報の収集と共有</li> <li>★ 明日からできる具体的な対策の確認</li> </ul>

### ～時期によって家庭訪問の目的は違ってきます～

- 🍎 休んでいる児童生徒の状態や時期に合わせ、どのような目的で訪問するかを考えましょう。
- 🍎 短時間でも同じペースで訪問を継続して行いましょう。

**初期の頃…** 休み始め前後の情報を周囲の先生等から集めておき、家庭からの訴えをよく聞き、誠実に対応する。

**長期化している時…** 負担のかからないような関わり方をする。行事など節目ごとにもうまきかける。曜日や時間を決めて、短時間でも関わり続ける。



<参考文献 「上手な登校刺激の与え方 小澤美代子」より>

P3 教育センターニュース No.5 (10月16日発行)

## ICTを活用した授業の充実を！

第2次四日市市学校教育ビジョンの中では、ICTを活用した授業の充実が位置づけられています。ICTを活用した授業についての研究では、9割の子どもが「授業がわかりやすい」と答え、実際に理解度の向上に効果があることが分かっています。まずはICT機器に触れ、活用できる能力を身に付けて、ICTを使った分かりやすい授業に取り組んでいきましょう。

**ICTを活用して教科指導ができる教職員の割合を  
平成27年度までに100%にします**

(第2次四日市市学校教育ビジョン 取組指標)



## ～ICT活用を拡げるための取り組み～

### 基礎から学ぶ ICT 活用術では・・・

新任・転入者およびICT機器の扱いに不慣れな方を対象に、各校の活用上級者を講師とした研修講座を行いました。実際に配線から始め、機器に触れることに重点を置いて研修を進める中で、参加者同士で「こういうときは、こうするんだよ!」と学びあう姿がありました。ICTコーディネーターを中心にこうした研修を行うことで、ICT活用を拡げていきましょう。



こちらもご活用ください



### 研修参加者の声

- 今まで敬遠していた部分もあったが、基本的なところから教えて頂いたので分かりやすかった。
- 授業で実際に使わなければ活用技術も向上しないので、積極的に取り入れていきたい。



ICTを活用した授業実践・事例集・機器マニュアル等は、教育センターHPに掲載されています。是非ご覧下さい。